

議で基本計画を策定する。

イ 市町村立図書館の建設を促進するよう市町村の指導に当たる。

③ 青少年教育施設の拡充整備

ア 会津坂下町に少年自然の家を建設する。

イ 県少年自然の家（郡山）の施設設備の整備をすすめる。

ウ 海浜青年の家に総合研修館を建設する。

④ 公立視聴覚ライブラリーの設置促進

ア 県全域に公立視聴覚ライブラリーを設置するよう未設置市町村の指導に当たる。

## 2 市町村社会教育主事等研修会

(1) 趣 旨

市町村社会教育主事、公民館主事に対して専門的な知識技能の研修を行い、社会教育主事、公民館主事の資質の向上を図る。

(2) 期日、会場、参加者数

① 期 日 昭和55年9月24日～27日 3泊4日

② 会 場 県婦人会館（福島市飯坂町）

③ 参加者数 48名

(3) 講師、助言者、

① 講 師

立教大学文学部教授 岡本 包 治

福島大学教育学部教授 堀 口 知 明

同 島 田 啓 二

東北福祉大学教授 古 筈 安 好

郡山女子大学教授 長谷川 寿 郎

福島県社会教育委員 丹 野 清 栄

福島県文化センター館長 高 橋 哲 夫

② 助 言 者

福島市三河台公民館長 瓶 子 保 典

福島県教育庁社会教育課員及び教育事務所員

(4) 参 加 者

市町村社会教育主事、公民館主事（4年勤務以上）

(5) 内 容

① 成人教育に関する事業の開設と運営

② 公民館事業のあり方とこれからの課題

③ 学習計画立案の手順と評価の視点

④ 放送利用学習

## 3 社会教育委員研究協議会

(1) 趣 旨

市町村社会教育委員の役割は、社会教育振興上極めて重要である。社会教育委員が一堂に会し、社会教育委員の任務及び活動上の諸問題について研究協議を行い、もって本県社会教育の振興に資する。

(2) 主 催

福島県教育委員会 二本松市教育委員会 福島県市町村社会教育委員連絡協議会

(3) 期日、会場、参加者数

① 期 日 昭和55年9月4日～5日

② 会 場 二本松市立安達太良小学校体育館

③ 参加者 223名

(4) 参加対象

市町村社会教育委員及び市町村教育委員会事務局職員

(5) 講師、助言者

① 講 師

宮城県社会教育委員 宮城教育大学教育学部教授

江 馬 成 也

② 助 言 者

福島県教育庁社会教育課員 県北教育事務所員 その他

(6) 内 容

① 研究主題

「地域社会における生涯教育の課題を検討し、社会教育委員の活動のあり方を考えよう」

② 講 演

「これからの市町村社会教育委員の役割」

③ 分科会による研究協議

第1分科会 「家庭教育の振興」

第2分科会 「成人教育の振興」

第3分科会 「社会体育の振興」

第4分科会 「社会教育委員の任務」

## 4 生涯教育研究協議会・研究大会

(1) 趣 旨

社会教育関係者が一堂に会し、生涯教育の立場から社会教育をどのように体系化し、充実するかについて研究協議し、地域における社会教育活動の拡充を図る。

(2) 期日、会場、参加者

期 日	管 内	会 場	参加者数
8月19日	会 津	山都町公民館	110名
9月9日	相 双	原町市文化センター	196名
9月11日	南 会 津	館岩村公民館	120名
9月12日	県 北	福島市杉妻公民館	113名
10月29日	県 南	塙町公民館	136名
11月7日	い わ き	いわき市内郷公民館	131名
12月3日	県・研究大会	郡山市公会堂	306名

(3) 講 師

宮城教育大学教育学部教授 江 馬 成 也

福島大学教育学部教授 堀 口 知 明

福島県社会教育委員 丹 野 清 栄

前会津若松市長 高瀬 喜左衛門

元福島県立若松女子高等学校長 中 川 幸 意

前小高町教育委員会社会教育指導員 坂 下 誠

(4) 助 言 者

会場地教育委員会事務局職員、県社会教育課員、教育事務所員、社会教育関係団体代表者、小・中・高校等学校関係者

(5) 参 加 者

市町村長、同議会議員、同教育委員、社会教育委員、社会教育関係職員、社会教育関係団体代表者、小・中・高校